

小中一貫教育だより

「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて～

- 目標をつなぐ
 - カリキュラムをつなぐ
 - 子どもの心をつなぐ
 - 教職員の意識をつなぐ
 - 家庭・地域の絆をつなぐ
- 「小中一貫教育！」



令和5年度（2023年度）
No.12（2024.3.21）
担当：熊本市教育委員会事務局
学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

小中一貫校の河内中学校区、富合中学校区では、

小学生と中学生の「異学年交流」を実施！

河内小6年生が河内中1年生と道徳科の合同授業を体験

2月8日(木)、河内中学校で、体験入学の一つとして、「小中合同道徳科授業」が行われました。

中学1年生の教科書にある「バスと赤ちゃん」という教材で、「社会の中の思いやり」を様々な立場で考えました。中学生5人が授業者の田代教頭先生をサポートし、グループ活動ではファシリテーター役の生徒6人が、小学生の意見を引き出すなど、中学生のリーダーシップが発揮されました。本時の主題のとおり、互いの意見を認め合う

「思いやり」のある雰囲気です。授業が進められました。小中の子どもたちのつながりが深まるとともに、道徳科のカリキュラムのつながりも見られた取組となりました。



中学校の道徳って、人間としての生き方を考える時間なんだ・・・

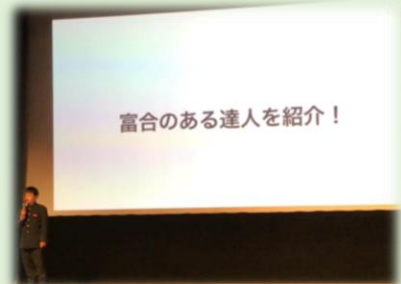
富合小の総合学習発表会に富合中1・2年生も参加

富合中学校区は、総合的な学習の時間を小中一貫カリキュラムの柱とし、小中で地域学習「とみあい学習」を共通実践されています。そこでこれまで学習してきたことを2月20日(火)アスパル富合ホールで小学校5・6年生、中学校1・2年生が発表しました。

保護者や地域の方も参観され、まさに学校、児童生徒、保護者、地域がつながる発表会となりました。小学生の子どもたちも、中学生の発表をお手本に、今後の学習に意欲を高めました。



小学6年生の発表
「もっと人とつながる富合のまち」



中学1年生の発表
「富合の人とつながりたい 富合の達人」

異学年交流の効果としては、例えば、以下のようなことが考えられます。①異学年交流によって社会性（思いやりの心、コミュニケーション能力等）やリーダーシップを育成することができる、②異学年で学ぶことが、新しい気づきや既習事項の振り返り、学習意欲の向上につながる、③児童の中学校生活に対する不安感の軽減により、小学校から中学校への移行がスムーズに行われ、学校段階間のギャップの解消につながる [小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引 \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp) 【p.78】より

Ctrl+クリックを！



目標をつなぐ
 カリキュラムをつなぐ
 子どもの心をつなぐ
 教職員の意識をつなぐ
 家庭・地域の絆をつなぐ
 「小中一貫教育！」



令和5年度（2023年度）
 No.13（2024.3.21）
 担当：熊本市教育委員会事務局
 学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

長嶺中学校区（長嶺小、託麻南小、長嶺中）では、

新学期に向けて**幼保と小、小と中**の交流授業が行われました！

中学校
 ↓
 小学校
 ↓
 幼稚園・保育園

長嶺中2年生が長嶺小・託麻南小6年生と交流授業

3月12日（火）、長嶺中2年生の代表の生徒が、自分の出身小学校である長嶺小と託麻南小へ出向き、中学校の生活を紹介する交流授業を行いました。中学生は2～3人のグループで、6年生の各学級を順番に回りながら、クイズなどを取り入れて中学校の行事、小学校と中学校の違い、「中学校あるある」などを楽しく紹介しました。

授業後の小学生の感想には、「中学生になるのは不安だったけど、いろいろなことを教えてもらって中学校に行くのが楽しみになりました。」とありました。

中学校には、いろいろな行事があります！



中学校って、楽しそうだなあ..

さくら幼稚園の園児が託麻南小1年生と交流授業

3月4日（月）さくら幼稚園の園児100人ほどが、託麻南小の1年生の教室を訪問しました。各教室に入り、最初にお互いにあいさつをした後、園児たちは、実際に1年生の椅子に座らせてもらいました。その後、1年生の児童たちは、自分たちで作った紙芝居で小学校の紹介をしたり、実際にランドセルや教科書、タブレット、算数セットなどの使い方を教えたりしました。

各教室には、園児に寄り添いながら優しく教える児童の姿がたくさん見られました。

園の先生によると園児たちは、教室の黒板の大きさにびっくりし、「また行きたい。」と言っていたそうです。



園児にタブレットの使い方を優しく教える小学1年生の児童

異学年交流を実際に行った場合の成果として、例えば、以下のようなことが挙げられています。

- ① 友達や下級生に優しくできる児童生徒が増えた
- ② 相手の気持ちをよく考えて付き合おうとする児童生徒が増えた
- ③ 中学校の生徒の責任感や自己肯定感が高まり、学校全体が落ち着いた

小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引 (mext.go.jp) 【p.78】より